

# 東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第494号 2016. 6 / 5

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321  
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324  
 発行人 高橋 廣

目 次	
第48回通常総会開催される……………	1
平成28・29年役員紹介……………	3
人工知能(案山子)……………	4
事務局レポート	
第48回通常総会議事録要約……………	5
第351回理事会議事録……………	6

## 第48回 通常総会が開催されました

～「今必要なのはただの競争ではなく コーペティション（協力と競争）」  
 トヨタが未来を託した男は、ライバルをも巻き込みながら革新を起す～



挨拶・大野会長

平成28年5月19日(木)初夏を思わせる晴天の強い日差しと濃い緑のもと、上野精養軒において当工業協会の第48回通常総会が開催されました。当日は、正会員、賛助会員の皆様はじめ大勢のご来賓、関連業界団体、技能検定及び教育訓練の先生方さらに報道関係の皆様方に出席されました。

議案は以下の通りでした。

- 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成27年度



司会・大塚副会長



議案説明・大井副会長

- 決算報告承認の件
- 第3号議案 平成28年度事業計画(案)審議の件
- 第4号議案 平成28年度収支予算(案)審議の件
- 第5号議案 役員改選の件

上記議案は、全て原案通り承認され、無事終了

しました。

平成28年度の事業計画では、重点事業として、「①会員数を増やすしくみ作りと着実な実行、②能力開発・技能向上等教育事業を推進、③支部活動の活性化を目指す、④行政等の各種支援策に関する情報収集と伝達」を掲げ、注力する事としている。内容については、配布申し上げました第48回通常総会資料をご覧ください。

総会后開催された懇親会において、大野会長は以下の通りご挨拶を申し上げます。

「本日はお忙しい中、当協会の総会並びに懇親会に関東経済産業局の齋藤課長様はじめ 業界関連団体及び会員各位皆様方の大勢の出席を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

企業収益の減速感が一段と強まってきたとのマスコミ情報が散見されます。日本経済新聞社が4月28日までに、2016年3月期決算を発表した上場企業の業績を集計したところ、新興国経済の不振や資源安が重荷で16年3月期通期は4年ぶりの減益になる可能性も出てきました。今期は急な円高に見舞われており、業績の先行きは不透明だそうです。

そのような日本の製造業の状況の中、会長として平成27年度の重点事業を振り返ってみますと、正会員並びに団体・賛助会員加入活動につきましては、経費負担の増加やコストダウンの要請など協会の置かれている状況は良くありませんが、会員減少を抑えることが出来ました。

能力開発・技術向上等教育事業の推進につきましては、27年度は26年度より若干技能検定の受験申請者が増加しました(1・2級計166名<昨142名>)。また申請者の増加から技能士合格者も増加しました(1・2級計72名<昨61名>)。

活性化を目指した支部活動におきましては、各支部とも活発に活動しており、少しずつ世代交代し新しい力に変化してきています。

情報収集と発信におきましては、国のものづくり試作・開発補助金や省エネ補助金の情報を会員宛てに配布し、その他情報をホームページ上に掲載して情報の発信を行いました。

お話が変わりますが、「トヨタが未来を託した男」という記事が新聞に出ていました。シリコンバレーに新会社「トヨタ・リサーチ・インスティテュート」がオープンしました。

5年間で10億ドル(約1100億)を投じ人工知能(AI)や自動運転技術の開発を目指すトヨタ自動車の戦略拠点になるそうです。

この最高責任者(CEO)はギル・ブラット氏ロボットの専門家です。前職は米国防務省国防高等研究計画局(DARPA)のプログラマネージャーだそうです。福島第一原子力発電所の教訓を生かそうと世界に呼びかけて開いた災害対策ロボットの国際競技会を成功に導いた手腕と人脈に

トヨタが目をつけたそうです。

トヨタでブラット氏を支えるのはまさに「ドリームチーム」。グーグルのロボット開発部門の元トップ、家庭用掃除ロボット「ルンバ」の生みの親、フォード・モーターの自動運転車開発に携わっていたミシガン大学の教授コンビなど、そうそうたる顔ぶれだそうです。

「1兆マイル(約1兆6000億キロ)」と「120万人」。これは、1年間で世界中のトヨタ車が走る距離の合計と世界で亡くなる交通事故の犠牲者数だそうです。トヨタには自動運転技術で交通事故を減らすだけでなく、「1兆マイルの信頼性」を確保する責任がある、彼が初めてトヨタ本社を訪れた夜、その目標の高さに「一睡もできなかった」と言っています。

「この分野に今必要なのはただの競争ではなくコーペティション(協力と競争)」トヨタが未来を託した男は、ライバルをも巻き込みながら革新を起こそうとしています。

世界のトヨタでさえ革新を続けています。我々プラスチック製造業ももっと革新と挑戦が必要ではないでしょうか。

本日のご列席の皆様方のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。私のご挨拶といたします。ご清聴ありがとうございます」



ご来賓からは、代表して関東経済産業局・製造産業課長の齋藤昌子様より、お祝いと激励さらに28年度施策等について下記のご挨拶を戴きました。

「わが国の経済情勢は緩やかな回復基調にありますが、中小企業の皆様からは、販路の開拓や収益力の維持向上、人材の確保に課題があるとの声も聞かれます。そのため、国としても、平成27年度補正予算や28年度予算による施策をしっかり進め、持続的な経済成長につなげるよう、努めているところです。

当方の施策を若干ご紹介いたしますと、まず、「平成28年度の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」がございませう。中小企業の生産性向上を実現するための補助金で6月9日まで募集中です。





乾杯・後藤中部日本会長



中締め・川野副会長



総会会場

また、「ものづくり日本大賞」という隔年実施の表彰制度について、第7回の公募が今年の秋頃から始まります。是非、皆様からも多くのご応募をいただきたいと思えます。

このほか、当方では、伝統的工艺品産業の振興にも携わっており、11月には関東各地の産地組合が大集合して都内に開催する伝統的工艺品展も応援いたしております。

さて、皆様方が携わるプラスチック製品は、言うまでも無く様々な分野で活用され、世の中に無くてはならないものです。

私ども関東経済産業局としまして、皆様方を始め中小企業を中心とした地域経済の発展と収益力の維持向上のため、職員が率先して現場に出向き、地方自治体、産業支援機関等、地域の関係機関とも有機的に連携し、地域経済を担う企業の皆様が、

遺憾なく能力を発揮できる環境整備に力を尽くして参る所存です。

本日のこの機会に、皆様からも、忌憚のないご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。

最後になりましたが、東日本プラスチック製品工業協会のますますのご発展と本日ご臨席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私からの祝辞とさせていただきます。

続いて、中部日本プラスチック製品工業協会の後藤鉦一郎会長様の乾杯の発声により祝宴が始まりました。

会場には、あちらこちらで参加戴いた多くのご来賓、会員の皆様方による情報交換の輪が由来しました。18時20分、川野副会長の中締めの挨拶と一本締めでお開きとなりました。

## 一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会

### 平成28, 29年度 役員

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	会社名等	役 職	氏 名	会社名等
会 長	大野 泰昭	(株)石黒製作所	理 事	滝口 裕	(株)滝口製作所
副 会 長	大井 英一	(株)大井製作所	〃	福田 晴通	旭モールディング(株)
〃	大塚 一郎	大塚産業(株)	〃	植田 好司	(株)植田電器製作所
〃	佐藤 昭	(株)サトーコーセー	〃	肥後 武重	(株)リーデンス
〃	川野 幸博	川澄化学工業(株)	〃	腰越 稔	協和精工(株)
専務理事	高橋 廣	東日本プラ工業協会	〃	小松 幹也	(株)日新化成
理 事	安達 七郎	石田プレス工業(株)	〃	関根 忠	(株)マイクロ精工
〃	住田 嘉久	日ノ出樹脂工業(株)	〃	小野 勝彦	長野県プラ工業会
〃	嶋田 修二	浅間合成(株)	〃	佐羽 宏之	群馬県プラ工業振興協会
〃	内藤 隆夫	平和工業(株)	〃	平田 照雅	埼玉県プラ振興会
〃	山下慎一郎	山下電気(株)	〃	武田 久徳	茨城県プラ振興会
〃	平塚 隆文	(株)三光社	〃	大山 剛	新潟県プラ工業振興会
〃	白石 創士	白石工業(株)	〃	池添 亮	栃木県プラ工業振興会
〃	曾我部 上	(株)新上	〃	小椋 庄二	福島県プラ工業会
〃	大川 哲郎	大東プラスチック工業(株)	監 事	古澤 正弘	(株)フルブラ
〃	上村 俊彦	かみむら化学(株)	〃	谷 和雄	(有)大里化工
〃	長島 勝敏	(株)千葉工業所	〃	野邊弘一郎	エンゼル産業(株)

# 人工知能

人類が生んだ最も複雑なゲームと言われる囲碁において、米グーグルが開発した人工知能 (Artificial Intelligence: AIと略す) 「アルファ碁」が今年3月、世界屈指の棋士、韓国のイ・セドル九段と対戦し、4勝1敗で圧勝したことで一気に話題となりAIが注目を集めている。政府の産業競争力会議が5月19日にまとめた成長戦略の素案では、ロボットやAIを駆使した「第4次産業革命」の推進が柱となっている。

続いて自民党の「人口知能未来社会経済戦略本部」は5月28日、AIなど新規産業での研究開発の促進や研究者育成に向けた産官学による司令塔組織の新設を柱とした政府への提言をまとめた。

## 1. 人工知能の歴史

\* AIの歴史は、古代の神話、物語などにおいて名匠が人工物に知性または意識を与えたという話から始まる。これは「神を人の手で作り上げたい」という古代人の希望から生まれた。

\* 現代AIの種子は、人間の思考過程を記号の機械的操作として説明することを試みた古典的哲学者らが育んだ。

\* 数学的推論に基づいたマシンとプログラム可能なデジタルコンピュータENIACが1946年J.P.EckertとJ.W.Mauchlyによって開発され、「人間の知的活動を行う機械」を作る試みが活発になった。

\* 1947年 A.M.Turingはロンドンの数学学会で、現在の人工知能の概念を提唱した。

\* 1956年 J.MeCarthyらが発起人となった「ダートマス会議」において「Artificial Intelligence (人工知能)」という言葉が初めて使われ、人工知能研究が学問の一分野として確立された。

\* その後莫大な資金が投ぜられてAI研究は発展を遂げるが、政府やベンチャー・キャピタリストの期待と研究成果とのギャップの大きさが問題となり、研究の進捗と停滞を繰り返して、現在3度目のブームを迎えている。

## 2. 人口知能の応用例

\* ゲーム：

冒頭の囲碁ソフトに先立ち、最初のコンピュータ開発の5年後、1951年にはチェッカープログラムならびにチェスのプログラムが書かれた。

将棋ソフト開発は1970年代中ごろに始まり、2010年から2012年にかけての公開対局ではコンピュータ側の勝率が9割を超えている。ゲームはAIの進化の程度を測る手段として使われる。

\* 監視カメラ：

街頭の監視カメラ群は特定の人物の動きを、顔の識別や歩き方の特徴を捉えた個人認識で連続捕捉する。

\* 医療：

肺のX線画像を解析し、専門医でも見落としがちな1mm以下の早期癌を発見できるレベルに到達している。

\* 音声アシスタント：

アップル社のスマホ、タブレット搭載の「シリ

(Siri)」ではユーザーの音声による問いかけに対し回答を音声で返したり、予約やWebサービスの利用が可能。

\* ロボット：

ソフトバンクの人型ロボット ペッパーは感情認識と自立感情を持ち、人とのコミュニケーションを通じて人の表情や声を学習し、相手を和ませたり、喜ばせたりすることを目的に開発されている。

\* 自動運転：

車の前方ならびに側方や後方を見るカメラとレーダーを装備し、前車追走と衝突防止、車線内走行、高速道路での追い越し、車庫入れを自動化する段階に達している。さらに、GPS情報、リアルタイムな地図情報と道路交通情報、天候情報等を加味して一般道を含めて交通渋滞を回避しつつ、設定した目的地まで自動走行可能な「ぶつからない車」を世界で開発中である。

\* 投資：

株価の動きに加え、SNSで発せられる多くの言語情報を分析して、有効な投資先を決定する。

## 3. 人工知能のレベル分け (注)

人工知能をその処理能力で4つにレベル分けすると、

\* レベル1・・・単純な制御プログラム、(温度変化に応じて機能するエアコンや冷蔵庫など)  
\* レベル2・・・対応のパターンが非常に多いもの、(将棋のプログラムや掃除ロボット、質問に答える人工知能など)

\* レベル3・・・対応パターンを自動的に学習するもの、(検索エンジンやビッグデータ分析で活用される。機械学習を取り入れたものが多く、特徴量は人間が設計する)

\* レベル4・・・対応パターンの学習に使う特徴量も自分で獲得するもの、(ディープラーニングを取り入れた人工知能が多く、高度な分析が可能)

会社で例えるなら、レベル1が「言われた通りにやるアルバイト」、レベル2が「自分の頭も使って、言われたことをやる一般社員」、レベル3が「教えられた着眼点でうまいやり方を見つける課長」、レベル4が「着眼点も自分で見つけるジェネラルマネージャー」。

## 4. 人工知能の将来

AIの発展は生産性を大きく向上させるが、AIはすでに人間の理解を超えた判断を高速でおこなうレベルにある。システムの暴走を防止する機能を付加しながら、人間の尊厳を守り仕事のやりがい、生きがいを増大させる開発が必要である。

(注)

2015. 6. 1 人工知能テクノロジーの現状と可能性  
東京大学大学院工学系研究科 准教授 松尾 豊

(案山子)



## 事務局レポート

### ■第48回通常総会 議事録要約

1. 日 時 平成28年 5月19日(木)  
16時～16時50分
2. 場 所 上野精養軒 3階 桜の間  
東京都台東区上野公園 4番58号
3. 出席者  
出席正会員 120名(うち委任状 72名)  
正会員総数 168名  
定刻、大塚副会長の司会により、一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会 第48回通常総会の開会が宣言され、大野会長の挨拶につづいて、司会より、本総会出席会員の定足数は過半数を超えており(71%)、一般社団法人定款第18条の規定により本会が有効に成立している旨の報告がなされた。次に、定款第16条の規定により会長が本総会の議長の任に当たる旨を説明し、異議なく全会一致で承認された後、大野会長が議長席に就いた。
4. 議事録署名人  
議長より定款第20条の規程により、議事録には議長の記名押印のみで済むため、他の署名人の選出はない旨を説明し、了承された。
5. 議 事  
第1号議案 平成27年度事業報告承認の件  
第2号議案 平成27年度決算報告承認の件  
議長より、第1号、第2号議案は関連があることから一括して説明をお願いしたい旨を議場に語り、了承を得た。大井副会長より、総会資料に基づいて、会員の状況ならびに会議の開催、個別事業についての報告と支部会開催状況等の報告をし、さらに平成27年度の貸借対照表、正味財産増減計算書等について説明をした。  
続いて、谷 和雄 監事が以下のとおり監査意見を述べた。  
「去る5月13日、工業協会事務所にて平成27年度の事業報告、計算書類、これら附属明細書について監査を行いました。監査の結果につきましては、法令及び定款に従い、計算書類並びに

財産目録等が適正に処理がなされている」旨  
「また、30頁の公益目的支出計画の実施の状況についても、正しく示しているものと認めます」旨

議長より、第1号、2号議案の承認可否について、議場に諮ったところ異議なく全会一致で承認された。

さらに、平成27年度当期収支差額、金14,892,212円の処分方法は、全額を次期繰越収支差額として処分することについて議場に諮ったところ、異議なく承認された。

第3号議案 平成28年度事業計画(案)審議の件

第4号議案 平成28年度収支予算(案)審議の件

議長は、第3号、第4号議案について、関連があることから一括して説明をお願いする旨の了承を得た後、大井副会長より以下のとおり説明した。

平成28年度の事業活動方針、「2016年は、米国経済は緩やかな成長が見込まれる模様。即ち雇用・所得の緩やかな増加を背景とした個人消費の改善や住宅市場の回復が予想される一方、エネルギー業種の業況が足かせとなり設備投資は停滞、輸出はドル高の影響と新興国景気の減速により軟調な推移が続く見込み。

ユーロ圏経済の足取りは鈍い。雇用環境の改善を背景に個人消費が回復基調であるが、生産活動の停滞や企業景況感の改善の遅れ、さらに新興国の減速等を受け輸出は伸び悩み景気の持ち直しペースは緩慢なものに留まる。

アジア経済は、昨年来の中国経済の減速、米国利上げの影響によるアセアン諸国の金融不安定化と景気減速感により、回復は後半以降になるとの見方が大勢である。

我が国では、個人消費の停滞や国内株が下落する等、足元での景気マインドは良くない。

2017年4月の消費税引上げを前提とすれば、個人消費、民間住宅等、下期にかけて緩やかに回復基調が見込まれるが、一方で設備投資や輸出は海外景気に左右され楽観はできない。そうした中、下請企業が多い当プラスチック製品製造業界を取巻く状況は、昨年に引き続き、経費増加やコストダウン要請もあって、業績の回復は厳しいと思われる。平成28年度は諸事業の運営

にあたり、会員の総意を結集して的確な事業の実施により当協会の設立目的の実現に向けて努力していく」旨を述べ、さらに、平成28年度重点事業は、「①会員数を増やすしくみ作りと着実な実行、②能力開発・技能向上等教育事業を推進、③支部活動の活性化を目指す、④行政等の各種支援策に関する情報収集と伝達」とする旨を説明し、各位のご協力を願いつつ提案した。

つづいて平成28年度収支予算案の事業総額、53,254,000円の内訳について総会資料に基づき一般会計の大科目毎に説明した。また、科目の詳細と部会別会計(部会・委員会)については、ご一読願うことでも承を得た。

議長より、第3号、第4号議案の可否を議場に諮ったところ、原案どおり全会一致で承認された。

#### 第5号議案 役員改選の件

議長より、本日の通常総会終了をもって任期満了となる現役員の改選について、昨年来、大塚副会長を委員長として役員選衡委員会を2回開催しました。その結果を4月13日開催の第350回及び先程の第351回理事会にお諮りし、その承認を戴き、本総会に上程するもの。資料掲載の平成28、29年度新役員候補者を発表し、その選任について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

続けて議長より、別室(菊の間)において、新役員による新執行部を選出するための理事会を開催するので、本総会を一時休会(約10分間)とし、総会の再開は16時50分とする旨宣した。



(議事進行をする大野会長)

16時50分再開。

議長から、先程、別室で第352回理事会を開いたところ、引き続き現執行部(三役)は下記の通り留任ということが決まった旨を報告した。

会 長：大野 泰昭 氏  
副 会 長：大井 英一 氏

副 会 長 大塚 一郎 氏  
々 佐藤 昭 氏  
々 川野 幸博 氏  
専務理事 高橋 廣 氏

大野会長からは、平成28、29年度の執行について、微力ですが精一杯尽くしたく何卒よろしく御協力のほどをお願いしたい旨の挨拶がなされた。

以上をもって16時50分、議長は、第48回の通常総会の閉会を宣した。

### ■第351回理事会 議事録

1. 日 時 平成28年5月19日(木)  
15時00分～15時40分
2. 場 所 上野精養軒 3階「菊の間」  
東京都台東区上野公園4-58  
電話 03-3821-2181
3. 出席者  
大野 泰昭 大井 英一 大塚 一郎  
佐藤 昭 川野 幸博 安達 七郎  
嶋田 修二 内藤 隆夫 山下慎一郎  
平塚 隆文 曾我部 上 上村 俊彦  
滝口 裕 福田 晴通 肥後 武重  
小松 幹也 小野 勝彦 小林 輝男  
武田 久徳 池添 亮 高橋 廣  
以上出席21名(理事総数28名)  
谷 和雄 以上監事1名  
大山 剛、住田 嘉久  
以上オブザーバー2名
4. 会長挨拶

本日はお忙しい中をご参集いただき有難うございます。一昨年の理事会では「こどもの日」にちなんで、「端午の節句」の話をしました。本日は「母の日」の話をしたいと思います。

老いは忍び寄り。健康で血色もいいのに物忘れがひどくなった。気が付くと同じ話を何度もしている。過去のことや子供も関心も衰えたように見える。消しゴムで消すように記憶が欠けていく。

作家の井上靖は「わが母の記」で高齢の母の姿を克明に描いている。

「母の日」は米国で生まれ、1945年5月に米議会が決議して国民が祝う日になりました。当時のウィルソン大統領は全官庁に国旗掲揚を命じました。母親たちの日頃の苦勞に感謝しようと

呼びかけ、全米に広がった市民運動が実を結んだ結果でもありました。それが戦後日本に伝わりカーネーションの花などを送るようになったそうです。

少子化が進んでも子育て環境は中々整わない。都会では保育所が見つからず、働きたくても働けない母も多いそうです。中小企業でも無認可の保育所を作る計画をしても中々ハードルが高いようです。いくつになっても母親は大切にしたいですね。

本日は、理事の皆様には理事会・通常総会・懇親会と長時間になりますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。有難うございます。

## 5. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と谷 和雄監事が議事録に捺印する事を説明し了承された。

## 6. 議 事

### 議題1. 経過報告

(前回理事会以降の主要行事)

#### (1) 役員会等の開催

4月13日 第350回理事会 東プラ健保会館

5月11-12日 平成27年度決算監査

東日本協会 会議室

#### (2) 部会・委員会の開催

##### ① 能力開発推進委員会

4月14～17、23日 新入社員教育講座

(学科、実技、計測) 板橋校

4月20日 役員会 東日本協会 会議室

##### ② 技能検定運営委員会

4月20日 役員会 東日本協会 会議室

##### ③ 青年経営研究会

4月26日 総会・役員会 原宿「南国酒家」

##### ④ 経営改善強化部会

4月28日 総会 東日本協会 会議室

##### ⑤ 製品技術部会

5月9日 総会 銀座フェニックスプラザ

##### ⑥ 技能士会

5月14日 総会 板橋校

#### (3) 協同組合

4月13日 第13回通常総会 東プラ健保会館

#### (4) 支部会・振興会

4月15日 福島県プラスチック工業会総会

福島ビューホテル

4月25日 城北支部会 上野・東天紅本店

#### (5) 連合会

4月21日 第180回理事会 ホテル日航大阪

5月17日 技能検定推進委員会

ホテルメトロポリタン エドモンド

### 議題2. 会員の入会・退会承認の件

#### (1) 退会の件

正 会 員 1 社

##### ① 会 社 名 株柳田製作所

退会理由 会社都合

### 議題3. 第48回通常総会 役割分担等の件

専務理事から、総会資料の第1号議案～第5号議案について、概略説明した。

また、別添(スケジュール・役割分担案、総会出席者一覧)についても簡単に説明した。

さらに、総会の途中、第5号議案可決後、一時休憩し、別室にて新理事による第352回理事会を開催し会長を選出、新会長が副会長、専務理事等を指名し、理事会の承認を得る。執行部の選出後、総会を再開し、新会長から新三役を報告した後、質問が無ければ、総会の閉会を宣する。

### (その他報告・連絡事項)

・還付金の件：資料2の各支部口座へ6月振込予定

・連合会通常総会

日時：平成28年6月2日(木)15時～

会場：兵庫県・宝塚温泉 ホテル若水

連合会役員：理事、監事、事務局

東日本：5名出席

※翌3日→懇親ゴルフ(大宝塚CC)

東日本：3名参加

・次回の東日本理事会開催について

第353回理事会・納涼会

平成28年7月14日(木)16時～18時半

会場：第一ホテル東京(新橋)21階「ルミエール」

会費：1万円

○理事会の開催<平成28年度 今後の予定>

第354回理事会 平成28年9月14日(水)

銀座フェニックスプラザ3F⑤

第355回理事会 平成28年11月16日(水)

銀座フェニックスプラザ3F④

第356回理事会平成29年1月19日(木)

賀詞交歓会 上野精養軒

第357回理事会 平成29年3月15日(水)

東プラ健保会館 14時

以上をもって、第351回理事会における審議を終了し、議長は15時40分、理事会の閉会を宣した。



## 業界OBの皆様の年金制度を継続します

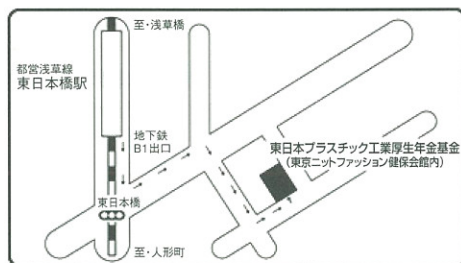
当基金では、一昨年4月施行の厚生年金基金制度法改正に対し、東日本プラスチック業界のOBの皆様の老後安定に貢献すべく、持続可能な制度設計へ抜本改訂を行ったうえで年金制度を継続する方針を決定いたしました。現在、加入中の事業所様のご支援をお願い申し上げるとともに、未加入の事業所様におかれましても、新制度へのご加入をご検討賜りたくお願い申し上げます。

法改正の内容や当基金の検討状況など、ご質問等がございましたら当基金までお寄せください。

## 東日本プラスチック工業厚生年金基金

理事長 宮越 健  
常務理事 栗城 靖

住所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13  
東京ニットファッション健保会館2階  
TEL 03-3862-4308 FAX 03-3851-7976



## 東日本プラスチック製品工業協同組合

～今後とも、会員企業のお役に立つよう下記の事業に積極的に取組んでまいります～

- 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等斡旋
- ETCカード事業、廃プラ事業
- 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険
- ソフトサラシタオル斡旋
- ポリマー辞典、サタケ保存食の斡旋

上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合  
代表理事 嶋田 修二  
電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324